蔵王の森だより

マンスリータイムズ　平成１９年１２月　師走
和歌山県立和歌山西高等学校

○　生徒会執行部　通学路のゴミ拾い

生徒会執行部の生徒が、地域に役立つ活動をしたいということで、春から内容を検討し、夏休みには、老人ホームに訪問し高齢者の方々と交流をしました。その地域に役立つ活動の一環として、11月28日（水）放課後、西ノ庄駅から本校に至る通学路の清掃活動を行いました。参加した5人の生徒は、積極的に取り組んでいました。また、道行く地域の方々から感謝の言葉をかけて頂き、すこし照れくさそうでしたが、人の役に立てることの喜びも感じていた様子でした。この気持ちを忘れずに、本校を卒業しても社会に貢献できる人材として成長していってほしいと思います。

○　図書充実委員会第２ブロック交流会　開催

11月22日（木）13時30分より、和歌山県立近代美術館にて、平成19年度和歌山県高等学校図書館研究会生徒図書充実委員会第2ブロック交流会が開催されました。各校の生徒23名、職員11名参加のもと、優れた芸術作品に触れることで文化的教養を深め、今後の図書館活動に活かすことを目的とし、企画展「森のなかで」を見学させていただくこととなりました。まず、学芸員の方に、今回の企画展について説明していただきました。和歌山の自然にちなんだ、さまざまな分野の芸術作品を集めたということで、生徒たちは熱心に聞いていました。その後生徒たちは館内を自由に観覧し、南方熊楠が研究を続けた粘菌の生態を直に観たり、古座川の写真の美しさに感銘を受けたりするなかで、ふるさと和歌山のすばらしさを再発見できたと語っていました。最後に、本校図書部部長の田中大介くん（3年）が、今日のお礼と閉会のことばを述べ、交流会は終了しました。

○　高等学校ＰＴＡ指導者研修会に参加

【パネラーとして参加の管原会長；右から３人目】

１２月１日・２日、平成１９年度和歌山県高等学校ＰＴＡ指導者研修会が、白浜町ホテル「シーモア」で開催されました。本校からは、管原会長をはじめ５名が参加しましました。

日本女子大学　宮田美恵子氏より「子どもの安全　～高校生をめぐる今日的課題への対応～」と題して、講演をしていただいた。自己感覚の喪失・他者感覚の喪失・社会的規範軸の喪失など、規範意識が変容してきている現在、子どもとどう向き合えば良いのか、貴重な示唆をいただいた。

２日目の分科会では、３分科会に分かれて参加しました。第１分科会の『生活指導とＰＴＡ』では、管原会長がパネラーとして参加し、「常識を教えよう！」と力説されました。また、広報紙コンクールでは、佳作に入賞しました。「来年は、最優秀賞を取るようにがんばろう。」と誓いを立てながら、白浜を後にしました。

○　年金セミナー開催　１２月１９日（水）

卒業を控えた３年生を対象に、年金セミナーを開催しました。和歌山社会保険事務局年金推進員　松下忠三郎氏に「社会保障　～公的年金制度を考える～」と題して講演をしていただきました。『私たちの社会は、老後の生活（全ての人が必然的に高齢化）・貧困・失業・病気・事故などにどのように対応しているか。社会保障は、そのような危険（リスク）の分散のための相互扶助である。かけがえのない命を大切にする人間尊厳の追求とその保障は、歴史の歩みであり、高度な文明社会の絶対的条件である』と、生活不安や生活上の危険・事故の解消のために、社会保障の意義・役割とその必要性を説明していただきました。

○　クリーン運動・アセンブリー　１２月２１日（金）

冬季休業前に、平成１９年度最後のアセンブリーを２１日に行いました。逢坂校長より、「経済的・社会的・精神的自立を目指そう。そのためには、自己理解やまわりの状況把握が大切です。一人では生きられない、『甘える』のではなく、『助け』てもらうことも必要である。」と訓話をいただきました。

アセンブリーに先立ち、枯れ葉で埋まりそうな、自転車道や階段の一斉掃除を行いました。各クラスが分担をして、清掃を行い、みるみるきれいになり、下校時にはきれいな階段を安心して降りることができるようになりました。

１月の主な行事予定

８日（月）　アセンブリー

２７日～３０日　２年修学旅行